

『南部氏・津軽氏 系図の「？」と「！』』

岩城大介 著

南部史・津軽史に一石を投じる書、 満を持して、遂に刊行！

…南部も津軽も、もともとは一緒。

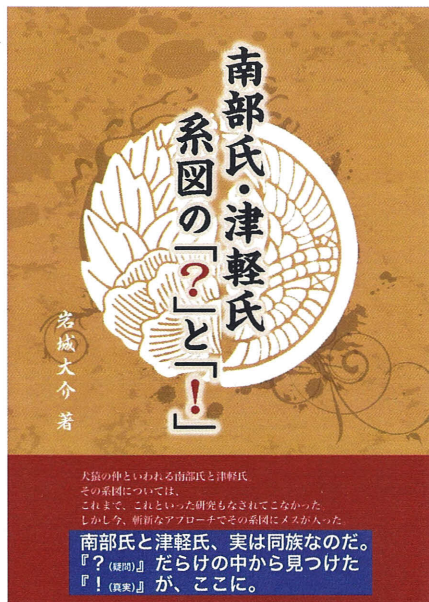
では、その本当の系図はどのようなものか？…

江戸時代、犬猿の仲と言われた南部氏と津軽氏であるが、実はこの両家、元を正せば同じ一族なのである。戦国時代に焼失したのを機に自家に都合よく“復元”したのが、今伝わる南部氏の系図。そして、京都の公家・近衛氏や平泉の藤原氏に無理やり先祖を結びつけた形跡があるのが、今伝わる津軽氏の系図。どちらの系図にも、謎とウソが紛れ込んでいる。

では、なぜこの両家は敵対視するようになったのか？なぜ系図を改竄しなければならなかったのか？そして本当（真実）の系図とはどのようなものだったのか？

この疑問に対して斬新なアプローチで挑み、津軽氏を含めた南部氏一族の系図の再構築を試みたのが本書である。

「？（疑問）」だらけの中から見つけ出した「！（真実）」が今、ここに陽の目を見る！



定価1,800円(税込)／並製／B5判／180ページ

お問い合わせは、

たかや文庫刊行委員会

(尙ヘイハン印刷内)

〒028-0091 岩手県久慈市大川目町 1-114-37

TEL 0194-55-3811 FAX 0194-55-3822